



拓北・あいの里地区社協三二通信

拓北・あいの里地区社会福祉協議会

会長：渡邊 寛 広報部長：森下 満

この広報紙は赤い羽根共同募金の支援を受けています

No 81

令和 6年 1月 17日

**1月10日(水)に社協常任理事会が行われました。
各部の活動状況と今後の予定についてご報告します。**



新型コロナウイルスもインフルエンザも増加傾向にあります。気を付けましょう

■ 総務部より ■

・福祉除雪のペアリング状況

令和5年12月現在、福祉除雪利用世帯数は113世帯で昨年度の117世帯より若干減少しました。利用者さんのおられる町内会数は27町内会、地域協力員さんのおられる町内会数は18町内会で、66.7%のペアリング率となっており、昨年度の55.6%より改善されています。

しかし一方では、地域企業及び地域外企業で33世帯を担っている(約30%)という実態があります。この企業に依存している体制は今後無くなる可能性も考慮すべきです。今後、個人及びグループに担ってもらえる体制の構築、さらには広域的及び効率的な除雪体制の構築が課題になると思われます。

◇ 今後の予定 ◇

福祉見守りボランティア研修会「認知症対応事例検討会」

2024年2月3日(土)午後2時から4時まで、地区センター多目的ホールにて開催予定。

内容：認知症基礎研修、認知症対応ケースグループ討議、全体意見交換

対象：町内会関係役員、見守り活動に関心のある方、地区社協部員、民生委員・児童委員

■ ふれあい交流部より ■

・1月11日(木)の「ひまわりクラブ」は地区センター和室に2組6名の親子さん(祖父の方1名を含む)が参加され、自由遊び、絵本の読み聞かせなどを楽しまれました。

次回は2月6日(木)10:00~11:30、拓北・ひまわり会館にて開催予定です。



新年早々、1月10日の常任理事会の様子



2組・6名の親子さんたちが参加した、1月11日のひまわりクラブ



地区センター25名、オンライン5名、合計30名が参加した、12月19日の地域ケア部の例会



12月例会でテーマとなった「介護老人福祉施設白ゆりあいの里」(あいの里3条8丁目14)の外観

■ 地域ケア部より ■

昨年末の12月例会は19日(火)18:30~20:00、地区センター2階集会室にて、介護老人福祉施設白ゆりあいの里施設長の清澤郭益(きよさわ・ひろみつ)さんをゲストに、「介護施設はコロナ禍をどう乗り切ったか-病院との違い、5類移行後の課題について-」をテーマに話題提供をいただき、意見交換を行いました。地区センターでの対面とオンラインでのハイブリッド方式で行われ、参加者は地区センター25名、オンライン5名、合計30名。

[→裏につづく]

コロナ禍時、白ゆりあいの里ではフロア全体の「清潔」、「感染」、「着脱（衣服の）」の3つのゾーニング、ゴミの保管と廃棄、食事・薬の受け渡し、その他取扱い注意用品（ボールペン、PHS、マスターキーなど）等の対策をおこなってきたが、感染拡大のリスクが常にあり、難しかった。

病院との違いとして介護施設ならではの課題があり、それは介護サービス継続の課題-常時人員不足、欠勤の収入の保証等-職員の就労、収入の確保の困難や在宅サービスの苦勞、であった。これらの課題に対しては、給料面では国の補助等、ICTの導入による連携-眠りスキャンによる居室の状況把握、ZOOMによる情報の共有-が効果的であった。

コロナの当初の2類からインフルエンザなどと同等の5類移行後の課題として、コロナはまだ残っており感染に対する世論とのギャップが大きいこと、特に施設利用控えが進んだこと、施設面会も再会できていないこと、職員の意識低下-来客意識の低下、接遇の低下-等がある。加えて、2025年問題の高齢化の進展と若年層の減少に伴う施設職員の人材確保という大きな課題がある。

これに対して白ゆりあいの里では、①労働力の確保、②就労の維持継続（離職予防）、③介護技術の革新-ICT化の一層の進展、生成AIの導入-、④働き方の多様性、⑤技能実習生の活用-特に国外からの-、等に取り組んでいるところである。



◇ 1月例会および2月例会のご案内 ◇

1月例会は既に 16日（火）18：30～20：00、地区センター2階集会室にて、北海道医療大大学看護福祉学部講師の石角鈴華（いしずみ・れいか）さんをゲストに、「みんなで話そう。アフターコロナの過ごし方」をテーマに話題提供をいただき、意見交換を行いました。その内容につきましては、次号にて報告します。

2月例会は 20日（火）18：30～20：00、地区センター2階集会室にて、札幌新生キリスト教会牧師の田中満矢さん、カフェオリーブ店主の三浦皇主郎さんをゲストに、「ほくほく子ども食堂・子ども弁当」をテーマ（昨年9月発行のミニ通信77号のプチ通信で紹介しました）に、話題提供をいただき、意見交換を行う予定です。

地区センターでの対面とオンラインでのハイブリッド方式で行います。来場できないがオンラインで参加の方にはZoomアクセス情報をお知らせします。その他の方はケア施設町内会事務局・長谷川までメール hasepy55@gmail.com でお問合せ下さい。